



池で観察できた生き物
エゾアカガエルの幼生(おたまじゃくし)、アメンボ、ポウフラとオニポウフラ(蚊の幼虫)、ミズダニ類、イトミミズ類、ミズムシ(甲殻類)、トビケラの仲間、ゲンゴロウの幼虫、ケンミジンコ、コオイムシ類、マツモムシ、アカムシ(ユスリカ)、エゾマイマイ、プラナリア(キタシロウズムシ?), ヒラマキミズマイマイ類、サツポロマイマイ など



両生類は水陸両用?
今年は寒い春なので、オタマジャクシの成長もゆっくりです。さてカエルやサンショウウオの仲間は両生類と呼ばれます。「水と陸、両方で生きる」生き物という意味ですが、「水陸両用でどこでも住める! 最強!」というものではないのです。オタマジャクシ(幼生)の時は陸ではえら呼吸できず、生きられない。しかし、親になると肺呼吸になるものが多いので、長い時間水で生活するのは難しく、下手をするとおぼれてしまいます。オタマジャクシには水が必要で、親では陸が必要なのですね。つまり両生類は「水も陸も、両方ないと生きていくことができない」弱い生き物なのです。つまり、水と森、餌と環境。これらがひとつでも欠けると姿を消してしまう動物なんです。

コラム ばいかだ